

## 研修報告

## 『新任者養成研修⑤～⑧』

## 【新任者養成研修⑤】

◇研修日：2022年12月3日（土）

◇テーマ：『退院支援-相談のポイントとシステム化』『退院支援-転院施設の相談』

◇講師：江南厚生病院 外山弘幸氏

◇アンケート コメント紹介

- 「社会福祉士の関わる診療報酬上の加算についてとても勉強になりました。退院支援に福祉の視点を持ったソーシャルワーカーがなぜ必要なのか、法的根拠をもとに動ける指針となることもわかりました。他の医療機関の方法を知ることから、自身の所属の方法にも役立つことができるためとてもいい機会でした。」
- 「退院援助を行わせていただいている中で、この講義を受講して、行動レベルで進めていくのではなく、全体の流れや行動の意味を理解した上で退院援助を行っていくことが重要であることを学びました。また、MSWが退院援助を行うにあたってはMSWが病院周辺にある医療機関の特徴を把握し、患者さん、家族の求める希望等に合わせ一緒に考えて行けるような援助が必要だと感じました。」

## 【新任者養成研修⑥】

◇研修日：2022年12月17日（土）

◇テーマ：『面接技術1・2』

◇講師：半田市社会福祉協議会 加藤昭宏氏

◇アンケート コメント紹介

- 「とにかく、先生の話に終始引き込まれた。とても楽しかった。このような話が聞けるのは、とても幸せだ。先生はスーパーバイザーとの出会いがきっかけとおっしゃっていたが、私にとっては加藤先生の話がそれに準ずると思う。そのような出会いは、引き継がれていくのだと感じた。情熱を持って仕事をしていきたいと強く願う。」
- 「今回初めてオンラインでの研修を受け、顔の見える状態で講義を受けることで講師の方の表情や声のトーンで伝わりやすくてとても意義のある研修でした。ロールプレイで店員役になり、相手の話を広げる力不足を実感しました。相手の不安を安心に変えることのできるソーシャルワーカーになれるようこれからも精進していきたいです。」

## 【新任者養成研修⑦】

◇研修日：2023年1月14日（土）

◇テーマ：『医療機関機能別専門知識1～4』

◇講師：熱田リハビリテーション病院（回復期・地域包括ケア）堀場知都氏

さとう病院（療養）大澤敬太氏

名古屋掖済会病院（緩和ケア）内山真子氏

星ヶ丘アメニティクラブ（老健）石川将弘氏

◇アンケート コメント紹介

- 「私の勤務先は急性期病院のため、施設や他院へ転院調整するケースが多くあります。それぞれの病棟や施設の役割や目的を知れたことで、今後の支援に活かすことができると思います。また、薬価が高い方、複数の薬を飲む必要がある方は、転院調整の課題となることがあると思います。しかし治療には必要なものでもあり、それを理由に転院が難渋することは、患者さんの不利益となっていないだろうかと考えさせられることがあります。そのような場合、転院の打診をどのようにするべきか、これから学んでいきたいと思います。」
- 「転院や施設入所を考えている本人、ご家族へ、病院機能や各病床の違いなどを説明する機会が多いが、自分自身の知識として、説明内容のそれ以上は知らない部分

## 研修報告

が多かった。先輩方や病棟看護師から加算のワードはよく聞いていたが、具体的な内容や種類を理解していなかったため大変勉強になった。」

### 【新任者養成研修③】

◇研修日：2023年1月28日（土）

◇テーマ：『自己覚知』『身寄りがない人への援助』

◇講師：大学非常勤講師 加藤 良子氏

尾張東部権利擁護支援センター 富田悠仁氏

◇アンケート コメント紹介

- 「自分の価値観や家族観で面談をすることで、どうしても偏った支援になってしまうと改めて学ぶことができた。客観的に考え支援することも重要となるため、自分の傾向について知ることが重要であると考えることができた。また、身寄りのない人の支援において、制度に落とし込むことが重要なのではなく、本人の思いも汲み取り支援することが大切なことだと思った。」
- 「自己覚知では改めて自分の特徴や性格、苦手な方のタイプ、自分の接し方について見つめ直すことができたので、今回行った自己各地を日々の業務の中でも活かしていきたいと思います。成年後見制度についてはまだ実際に患者さんに案内をしたことがないので、実際についてははっきりわかってはいなかったのですが、今回の研修の中で改めて理解を深めることができました。」

### 新任者養成研修会⑤～⑧を振り返って

委員長 外山弘幸

2022年年度の研修会も無事に終わることができました。本年度は新たな取り組みとして、8回のうち2回はZoomを使ったオンラインで実施をしました。今回の報告の6回目、8回目がそれに該当します。参集ではないものの、リアルタイムに研修実施をすることでコミュニケーションをしながらの講義は満足度も高い結果になりました。2023年度以降も状況にあわせて委員会として研修実施をしていきます。私も委員長という立場でありながら今回、5回目のコマを講師として担当させていただきました。受講生の反応が見えない中での講義は非常に難しく、これまで講師に「ゆっくりとお話してください」「間をとりながらお願いします」「大きな声でお願いします」と伝えてきたことが、講師には非常に酷な内容であったことを知りました。

最後に貴重な誌面を使い申しわけありません。私事ではありますが、今回委員会委員長を退任させていただきます。オンライン初年度は特に戸惑い、何とか締め切りに間に合わせながら対応をしてきました。委員会委員の皆さま、講師の皆さま、研修部はじめ様々な方にお礼をお伝えしたいと思います。ありがとうございました。